平成28年4月22日

平成28年 第4回

東大和市教育委員会定例会会議録

東大和市教育委員会

平成28年第4回東大和市教育委員会定例会会議録

1. 日 時 平成28年4月22日（金曜日）午後2時00分～午後3時03分

2. 場 所 東大和市中心公民館301学習室

3. 出席委員 1番 真 如 昌 美（教育長）

2番 武 石 修一郎

3番 岩 田 圭 子

4番 藤 宮 志津子

4. 欠席委員 5番 新 藤 久 典

5. 説明職員

学校教育部長 阿 部 晴 彦 社会教育部長 小 俣 学

学校教育部
参事兼
指導室長 岡 田 博 史 学校教育課長 岩 本 尚 史

建築課長兼
教育施設担当
副参事 中 橋 健 給食課長 齋 藤 謙二郎

統括指導主事 小 板 橋 悦 子 社会教育課長 村 上 敏 彰

中央公民館長 尾 又 恵 子 中央図書館長 當 摩 弘

6. 書 記

庶務係長 福 嶋 まゆ美 主 事 古 川 敦 子

○議事日程

- 第 1 議席の指定について
- 第 2 会議録署名委員の指名
- 第 3 教育長諸務報告
- 第 4 第 5号報告 事務の臨時代理の承認について
- 第 5 第 6号報告 事務の臨時代理の承認について
- 第 6 第 23号議案 東大和市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について
- 第 7 第 24号議案 東大和市社会教育委員の委嘱について
- 第 8 第 25号議案 東大和市立郷土博物館協議会委員の委嘱について
- 第 9 第 26号議案 平成28年度東大和市社会教育関係団体連合体に対する補助金の交付に伴う諮問について
- 第10 第 27号議案 東大和市立図書館協議会委員の任命について
- 第11 その他報告事項
 - (1) 平成28年度教育課程について
 - (2) 平成29年度使用小・中学校特別支援学級用教科用図書採択について
 - (3) 学びあいガイド28（行政による生涯学習）について
 - (4) 東大和の文化財をめぐるてくてく案内の配布について
 - (5) 桜が丘図書館、清原図書館の特別資料整理に伴う休館について

◎開会の辞

○真如教育長 ただいまから平成28年第4回東大和市教育委員会定例会を開催いたします。

会議に先立ちまして、ご挨拶を申し上げたいと思います。

平成28年4月1日付で、改正地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づきまして、新教育長として市長より過日、任命をされました。

この1年間、委員の皆さま方には、東大和市の教育についてお力を発揮していただきながら、私とともに東大和市全体の教育の活性化に努めていただければ、大変ありがたいと思います。

どうかよろしく申し上げます。

それでは、改正後の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定によりまして、教育長の職務代理者に武石委員を指名いたします。

武石委員、よろしくお願ひいたします。

○武石委員 よろしくお願ひいたします。

◎日程第1 議席の指定について

○真如教育長 それでは、日程第1、議席の指定を行います。

東大和市教育委員会会議規則第5条の規定によりまして、委員の議席は教育長が会議に諮って定めることになっております。

議席につきましては、ただいまご着席の議席といたしますが、これにご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○真如教育長 ご異議なしと認めまして、議席につきましては、ただいま着席の議席を指定いたします。

◎日程第2 会議録署名委員の指名

○真如教育長 日程第2、会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、岩田委員にお願いいたします。

本日は、傍聴の方はいらっしゃいません。

ご報告申し上げます。

◎日程第3 教育長諸務報告

○真如教育長 日程第3、教育長諸務報告を行います。

それでは、私のほうから。

教育長諸務報告、平成28年3月25日から4月20日までの諸務報告でございます。

3月25日、金曜日、第七小学校の卒業式に出席をいたしました。

3月27日、日曜日、第一中学校吹奏楽部定期演奏会で挨拶をさせていただきました。これまで指導してきた日下部先生は、この春から八王子市に異動になっております。

3月28日、月曜日、東京都立東大和高等学校を訪問させていただきました。

3月30日、水曜日、第一小学校、第一中学校及びサポートルームを訪問いたしました。

4月1日、金曜日、市職員（新任・異動）の辞令交付式に出席をいたしました。市内小中学校への新任・転任管理職・主幹教諭への辞令伝達式に出席をいたしました。その後、校長・副校長合同会議に出席をしております。

4月4日、月曜日、市内小中学校への新任・転任教職員への辞令伝達式に出席をいたしました。

4月6日、水曜日、第五小学校の入学式に出席をいたしました。

同じく7日、木曜日、第三中学校の入学式に出席をいたしました。

4月11日、月曜日、第三小学校、第八小学校、第三中学校を訪問し、懇談をしました。

4月12日、火曜日、定例校長会に出席をいたしました。その後、東京都市教育長会幹事会に出席をいたしました。

4月13日、水曜日、東京都市教育長会定例会、総会及び懇談会に出席をいたしました。昨年度、1年間、東京都市教育長会の会長を引き受けましたが、この4月13日の総会をもって任期を終えることができました。1年間、無事に仕事のできたのも皆さまのおかげだと思っております。

4月14日、木曜日、東京都教育施策連絡会に出席をいたしました。岩田委員、それから社会教育部長、指導室長、私とで参りました。

東京都教育委員会中井教育長からは、平成28年度の主要施策の概要について説

明がありました。項目が5つありまして、個々の子どもに応じたきめ細かい教育の充実が1つ、それから道徳教育の推進についてが1つ、それから世界で活躍できる人材の育成について1つ、オリンピック・パラリンピック教育についてが1つ、そして最後は体力向上についての5つを中井教育長が直接プレゼンを使いまして、説明をされました。

その後のシンポジウムは、コーディネーターが東京都教育委員会教育委員であり、ソウルオリンピックの柔道で銅メダリストの山口香さん。

パネリストとしては、室伏氏、それから斎田氏、真田氏、吉本氏、森村氏という5人の方でした。室伏氏は、説明するまでもなく、陸上のハンマー投げで、これまでも優秀な成績を残しておられた方であります。斎田氏は、車椅子テニスのパラリンピアンであります。真田氏は、筑波大学の体育系の教授でありオリンピック・パラリンピックの有識者会議の座長をされていた方であります。それから、吉本氏は、株式会社ニッセイ基礎研究所、研究理事でこの方も有識者会議のメンバーでありました。それから、森村氏は、一般社団法人PARACUP代表理事ということで、ボランティア組織の運営に力を発揮している方であります。それぞれの立場からいろんなお話を伺いまして、大変参考になる1日であったと思っております。

4月15日、金曜日、学校と東大和警察署との連絡会に出席をいたしました。

4月17日、日曜日、北多摩西部消防少年団卒入団式に出席をいたしました。

4月18日、月曜日、東京都市教育長会第2回予算特別委員会に出席をいたしました。

最後に、4月20日、水曜日、先日ですが、練馬区立光が丘四季の香小学校を訪問させていただきました。これまで第一小学校の副校長だった高野先生が、本年度からこの学校の校長として務めていらっしゃいます。ちょうど個人面談を行っていたのですが、どの教室も保護者と正対をして、皆さん、服装も姿勢も良く、しっかりと学校経営ができているなと感じました。

以上でございます。

それでは、教育長の諸務報告を終わります。

この件につきまして、何かご質疑等ありますでしょうか。

○真如教育長 何か卒業式、それから入学式に行かれて、お気づきになったところがありましたら教えていただければと思いますけれども、いかがですか。

○武石委員 特にないです。

○真如教育長 では、ないようですので終わりにしたいと思います。

◎日程第4 第5号報告 事務の臨時代理の承認について

◎日程第5 第6号報告 事務の臨時代理の承認について

○真如教育長 それでは、続きまして日程第4、第5号報告 事務の臨時代理の承認について、それから日程第5、第6号報告 事務の臨時代理の承認について、以上、2件につきましては、関連がありますので一括して議題に供します。

報告の説明をお願いいたします。

社会教育部長。

○小俣社会教育部長 ただいま議題となりました第5号報告及び第6号報告 事務の臨時代理の承認についてにつきましては、関連がありますので、一括して提案理由並びに内容のご説明を申し上げます。

第5号報告及び第6号報告とも、東大和市立公民館運営審議会委員の交代に伴うものであります。

内容につきまして、ご説明申し上げます。

東大和市立公民館運営審議会委員を構成します選出区分のうち、学校教育及び社会教育の関係者として、東大和市社会福祉協議会から選出されておりました齊藤弘子氏、及び東大和市立小・中学校長会から選出されておりました松村正博氏が、一身上の都合によりまして、平成28年3月31日付で東大和市立公民館運営審議会委員を辞退したい旨の届け出が出されたことを受けまして、後任として、東大和市社会福祉協議会から選出されました原與四雄氏、及び東大和市立小・中学校長会から選出されました石井和光氏を、平成28年4月21日付で委員に委嘱するものであります。

この件につきましては、東大和市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則第3条第1項の規定に基づき、解職につきましては平成28年3月31日付で、委嘱につきましては平成28年4月21日付で事務の臨時代理を行いましたので、同条第2項の規定に基づきましてご報告し、ご承認をお願いするものであります。

なお、原與四雄氏、及び石井和光氏の任期につきましては、前委員の残任期間であります平成29年5月31日までとなります。

以上でございます。よろしくお願ひ申し上げます。

○真如教育長 説明が終わりました。

ご質疑があれば、ご発言をお願いいたします。

松村校長先生の一身上の都合というのは、校長会の何か決まりの中ですか。

はい、どうぞ。

○尾又中央公民館長 東大和市立小学校・中学校長会の中で、毎年、役割分担されている中でのご交代になります。

○真如教育長 わかりました。ありがとうございます。

ほかに何かございますか。

(発言する者なし)

○真如教育長 それでは、質疑を終了いたします。

お諮りいたします。

日程第4、第5号報告 事務の臨時代理の承認について、本件を承認することにご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○真如教育長 ご異議なしと認めまして、第5号報告 事務の臨時代理の承認について、本件を承認といたします。

引き続き、お諮りいたします。

日程第5、第6号報告 事務の臨時代理の承認について、本件を承認することにご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○真如教育長 ご異議なしと認め、第6号報告 事務の臨時代理の承認について、本件を承認といたします。

◎日程第6 第23号議案 東大和市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について

○真如教育長 日程第6、第23号議案 東大和市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について、本件を議題といたします。

議案の説明をお願いいたします。

学校教育部長。

○阿部学校教育部長 ただいま議題となりました第23号議案 東大和市学校給食センター運営委員会委員の委嘱についてにつきまして、提案理由並びに内容について

てご説明申し上げます。

本件は、東京都多摩立川保健所職員の異動に伴うものでございます。

本年4月1日付で、東京都多摩立川保健所、生活環境安全課長でありました稲見成之委員が異動されました。後任の福田洋之氏を、本運営委員会委員として委嘱するものでございます。

委嘱につきましては、平成28年5月1日付であります。

なお、任期は生活環境安全課長の職にある間でございます。

以上でございます。よろしくお願い申し上げます。

○真如教育長 説明が終わりました。

ご質疑があれば、ご発言をお願いいたします。

(発言する者なし)

○真如教育長 ないようですので、質疑を終了いたします。

お諮りいたします。

日程第6、第23号議案 東大和市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について、本件を承認することにご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○真如教育長 ご異議なしと認めまして、第23号議案 東大和市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について、本件を承認と決めます。

◎日程第7 第24号議案 東大和市社会教育委員の委嘱について

○真如教育長 日程第7、第24号議案 東大和市社会教育委員の委嘱について、本件を議題に供します。

議案の説明をお願いいたします。

社会教育部長。

○小俣社会教育部長 ただいま議題となりました第24号議案 東大和市社会教育委員の委嘱についてにつきまして、提案理由並びに内容のご説明を申し上げます。

本件は、現委員が本年4月30日をもって任期満了となりますことから、社会教育法第15条及び東大和市社会教育委員の設置等に関する条例第2条の規定により、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、並びに学識経験のある者の区分に応じまして、新たに委嘱するものであります。

ご提案いたしました委員につきましては、お手元の議案書に記載のとおり、10

人の方でありまして、そのうち7人は再任、3人が新任となっております。

任期につきましては、平成28年5月1日から平成30年4月30までの2年間でございます。

以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○真如教育長 説明が終わりました。

ご質疑があれば、ご発言をお願いいたします。

ございませんか。

(発言する者なし)

○真如教育長 それでは、質疑を終了いたします。

お諮りいたします。

日程第7、第24号議案 東大和市社会教育委員の委嘱について、本件を承認することにご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○真如教育長 ご異議なしと認め、第24号議案 東大和市社会教育委員の委嘱について、本件を承認いたします。

◎日程第8 第25号議案 東大和市立郷土博物館協議会委員の委嘱について

○真如教育長 日程第8、第25号議案 東大和市立郷土博物館協議会委員の委嘱について、本件を議題に供します。

議案の説明をお願いいたします。

社会教育部長。

○小俣社会教育部長 ただいま議題となりました第25号議案 東大和市立郷土博物館協議会委員の委嘱についてにつきましては、提案理由並びに内容のご説明を申し上げます。

本件は、現委員が本年4月30日をもって任期満了となりますことから、東大和市立郷土博物館条例第8条第4項の規定により、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、並びに学識経験のある者の区分に応じまして、新たに委嘱するものであります。

ご提案いたしました委員につきましては、お手元の議案書に記載のとおりでございます。9人の方でありまして、そのうち8人は再任、1人が新任となって

おります。

任期につきましては、平成28年5月1日から平成30年4月30までの2年間でございます。

なお、現在、1人が欠員となっておりますが、候補者が決まり次第、ご提案をさせていただきたいと思っております。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

○真如教育長 説明が終わりました。

ご質疑があれば、ご発言をお願いいたします。

岩田委員、何かありますか。

○岩田委員 特にありません。

○真如教育長 そうですか。

○岩田委員 ありがとうございます。

○真如教育長 藤宮委員は。

○藤宮委員 ありません。

○真如教育長 そうですか。

武石委員も、良いですか。

では、私から。

この枠囲いの下に書いてある「石井和光委員については、選出区分（学識経験のある者）から移動。」というふうに書いてありますけれども、この枠の下の記述について説明してもらえますか。

はい、どうぞ村上課長。

○村上社会教育課長 石井和光委員につきましては、前任期の場合、国立市立国立第三中学校の校長先生をされておりましたが、学識経験枠で郷土博物館協議会委員となっておられました。今年度、東大和市立第一中学校の校長先生になられまして、校長会の中で役割分担を決めたときに、引き続き郷土博物館協議会委員を務めていただくのですけれども、学校長推薦と、学校長の区分から推薦という形になってしまいましたので、学識経験の枠から学校長の枠に移動となったところでございます。したがって、4月1日付で就任いたしましたので、その学識経験の1人の枠が1箇月間、欠員となってしまったということでございます。

○真如教育長 わかりました。

○村上社会教育課長 よろしいでしょうか。

- 真如教育長 はい。石井和光委員は、前から仕事されていたのですか。
- 村上社会教育課長 はい、前任期につきましても、学識経験の中の、今3人ですが、ここにもう一つ、枠がございまして、こちらのほうで石井先生には、郷土博物館協議会委員になっていただいていた経過がございます。
- 真如教育長 そうですか。
- 村上社会教育課長 以上でございます。
- 真如教育長 はい、わかりました。

ほかに何かございますか。

(発言する者なし)

- 真如教育長 それでは、ないようでしたので質疑を終了いたします。

お諮りいたします。

日程第8、第25号議案 東大和市立郷土博物館協議会委員の委嘱について、本件を承認とすることに異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

- 真如教育長 異議なしと認め、第25号議案 東大和市立郷土博物館協議会委員の委嘱について、本件を承認と決めます。

◎日程第9 第26号議案 平成28年度東大和市社会教育関係団体連合体に対する補助金の交付に伴う諮問について

- 真如教育長 日程第9、第26号議案 平成28年度東大和市社会教育関係団体連合体に対する補助金の交付に伴う諮問について、本件を議題に供します。

議案の説明をお願いいたします。

社会教育部長。

- 小俣社会教育部長 ただいま議題となりました第26号議案 平成28年度東大和市社会教育関係団体連合体に対する補助金の交付に伴う諮問についてにつきまして、提案理由並びに内容のご説明を申し上げます。

本件は、市が社会教育関係団体に補助金を交付しようとする場合に、社会教育法第13条の規定に基づきまして、あらかじめ教育委員会が社会教育委員会議の意見を聞いて行わなければならないこととされております。このことから、平成28年度東大和市社会教育関係団体連合体に対する補助金の交付に伴い、東大和市教

育委員会から東大和市社会教育委員会議へ諮問をするために、ご提案申し上げるものであります。

なお、本年度の補助申請額につきましては、昨年度同様の金額で383万400円となっております。

以上でございます。よろしくお願い申し上げます。

○真如教育長 説明が終わりました。

ご質疑があれば、ご発言をお願いいたします。

ありませんか。

はい、どうぞ。岩田委員。

○岩田委員 予算金額384万7,000円のところ、申請が383万400円だったということでもよろしいですか。

○真如教育長 どうぞ。

○村上社会教育課長 7団体、予算につきましては、ここ数年、384万7,000円で確保してございます。一昨年ですか、1団体から事業を1つ削りたいというお話がございまして、対象事業を1つ削ったことによりまして、金額が減になったということでございます。この金額につきましても、団体間で調整を行ったのですが、各団体とも事業を増やす状態ではないということなので、例年、従来どおりの金額の交付申請となったわけでございます。

以上でございます。

○岩田委員 ありがとうございます。

○真如教育長 ほかにございませんでしょうか。

(発言する者なし)

○真如教育長 それでは、質疑を終了いたします。

お諮りいたします。

日程第9、第26号議案 平成28年度東大和市社会教育関係団体連合体に対する補助金の交付に伴う諮問について、本件を承認することにご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○真如教育長 異議なしと認め、第26号議案 平成28年度東大和市社会教育関係団体連合体に対する補助金の交付に伴う諮問について、本件を承認と決めます。

◎日程第10 第27号議案 東大和市立図書館協議会委員の任命について

○真如教育長 日程第10、第27号議案 東大和市立図書館協議会委員の任命について、本件を議題に供します。

議案の説明をお願いいたします。

社会教育部長。

○小俣社会教育部長 ただいま議題となりました第27号議案 東大和市立図書館協議会委員の任命についてにつきまして、提案理由並びに内容のご説明を申し上げます。

本件は、現委員が本年4月30日をもって任期満了となりますことから、東大和市立図書館協議会条例第3条の規定により、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の区分に応じまして、新たに任命するものであります。

ご提案いたしました委員につきましては、お手元の議案書に記載のとおり、10人の方でありまして、そのうち5人の方が再任、5人の方が新任となっております。

任期につきましては、平成28年5月1日から平成30年4月30日までの2年間でございます。

以上でございます。どうぞよろしくをお願いいたします。

○真如教育長 説明が終わりました。

ご質疑があれば、ご発言をお願いいたします。

(発言する者なし)

○真如教育長 ないようですので、質疑を終了いたします。

お諮りいたします。

日程第10、第27号議案 東大和市立図書館協議会委員の任命について、本件を承認することにご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○真如教育長 ご異議なしと認め、第27号議案 東大和市立図書館協議会委員の任命について、本件を承認と決めます。

◎日程第11 その他報告事項

○真如教育長 日程第11、その他報告事項を行います。

報告事項1、平成28年度教育課程について、本件の報告をお願いいたします。
統括指導主事。

○小板橋統括指導主事 それでは、平成28年度の教育課程について、資料をもとにご報告をさせていただきたいと思います。

まず、その他報告資料の1をご覧ください。

学校ごとに教育課程の主な特徴のあるところを、15校分、まとめてお示しをいたしました。簡単に各学校ごと、お話をさせていただきます。

まず、第一小学校でございます。

今年度の重点目標は、教育目標の中でも、「よく考える子供」に置き、児童の考える力を育成すること、学力向上とともに道徳性や社会性の向上を目指すことに力を入れてまいります。今年度は、教育課題研究指定校ということで、算数科の習熟度別学習、それから系統的な学習で力を入れてまいります。教育課題研究指定校として、「様々な場面で、見通しをもって考えることができる子を目指して」ということで、2月に発表会を行う予定でございます。また、特別支援教育の視点を持ちまして、ユニバーサルデザイン等も含めた対応をしていくことも、特徴として挙げられます。

第二小学校でございます。

教育目標の中の「よく考える子」に力を入れてまいります。第二小学校では、異学年で編成した「ふれあい班」での活動が大変充実をしており、その異学年交流の推進を通して、児童同士が協力し合える豊かな人間関係を育てることに力を入れていくところでございます。こちらは、第二中学校グループで協力をしておりまして、年3回の教員研修会だけではなく、第二中学校の生徒が第二小学校に来て、図書委員による小学生への読み聞かせ、それから第二中学校と合同での引渡し訓練や避難訓練の実施など、地域に根差した活動も進めていくところでございます。また、今年度、特別支援教室を小学校全校に導入しておりますけれども、第二小学校は拠点校といたしまして、まずは第5学年を対象として、巡回指導教員による特別支援教育の理解推進授業というものを、今年度は実施をしていくところに特徴がございます。

第三小学校でございます。

第三小学校は、「よく考える子ども」に重点を置いてまいります。自ら進んで

学び、考える。相手の意見を尊重し自らの考えを深められる子どもの育成を目指してまいります。また、第三小学校では、学力向上の手だての一つといたしまして、4年生、5年生、6年生に各学期末のテストを行うということ、昨年度から取り入れておりますが、今年度も同様に実施をし、このテストがあるということで家庭学習を推進し、児童が自ら学習に取り組めるような、そんな手立てを講じているところでございます。また、学力向上だけではなく、また「三小学習トライアル」、「ダイヤモンドカード」というものを活用いたしまして、体力の向上と保護者と連携をした生活習慣の確立も進めているところでございます。

続きまして、第四小学校でございます。

第四小学校は、昨年度は言語活動向上拠点校といたしまして、教育課題研究指定校としての発表もいたしました。その考える力、書く力に力を入れてきたところに、そこにまた1つ積み上げまして、今年度は算数科を中心とした学力向上に努めてまいります。東大和市の共通プログラムを活用し、義務教育9年間における児童の健全育成、確かな学力の向上を図るため、中学校グループでの連携を一層深めてまいります。共通プログラムを活用し、目当て、それから振り返り、昨年度はこちらを徹底して行ってきた学校でございますが、今年度はさらに一歩進めまして、目当て、振り返りに加え、学び合い、今度は授業の中心となる内容について研究を深めてまいります。また、こちらでは地域の特色ある活動といたしまして、総合的な学習の時間で「製茶体験」、それから「おはやしクラブ」等の活動もありますので、伝統、文化を生かした教育活動にも力を注いでまいります。

第五小学校でございます。

今年度は、「考える子」に力を入れまして、自ら進んで学び、確かな学力が身に付く児童を育成することに力を入れてまいります。授業の狙いや達成度などを週の指導計画等に入れ、毎時間の授業の質の向上に努めてまいります。また、「五小タイム」という補習時間を活用した計算力などの基礎的・基本的な学力の定着、それから6年生の子どもたちが、キャリア教育の一環といたしまして、勤労観や社会性を養い、将来の職業や生き方についての自覚に資することを狙いとした、地域の方にご協力をいただく職場訪問や職場体験等も導入をしている学校でございます。特別支援教室の導入に伴い、拠点校の教員と連携した校内委員会の充実にも、力を入れてまいります。

続きまして、第六小学校です。

第六小学校は、「よく考える子」に力を入れ、進めてまいります。言語活動の充実、そして「分かる・できる・楽しい授業」の実践を大切にしております。また、特別支援教室の拠点校といたしまして、「ユニバーサルデザインの環境・授業づくり」を目指し、全ての子供にとって参加しやすい学校づくりを進めてまいります。また、異学年の小集団活動も第六小学校は伝統的に行っているところでございますけれども、異学年の小集団活動で活動することにより、協力する態度の育成、そして上学年としての、高学年の意識の向上を図ってまいります。

続きまして、第七小学校でございます。

「学ぶ喜びを知る子ども」に力を入れ、特に基礎・基本の確実な定着を重視いたしまして、学力の向上を目指してまいります。通級学級、ことばの教室もあります。そして、特別支援教室が導入されますので、通常学級、そして他学年との交流を図り、違いを認め合い「ともに生きる」を目指した教育活動を推進してまいります。また、第七小学校は伝統的にホタルの飼育活動を行っておりますので、主にかかわるのは5・6年生ではありますが、全校的な取組としてホタルの飼育活動にも力を入れてまいります。今年度は、第七小学校は第五中学校グループの小中一貫教育でございますけれども、小中だけではなく、小小の連携ということで、第七小学校、第九小学校の合同研究会を推進していくということで、もう既に第1回目の研修を実施したということを伺っております。小中一貫教育、IMO-ZOグループなので、小中一貫教育の推進「IMO-ZO WINWIN大作戦」ということで、第七小学校にとっても、そして第九小学校にとっても、良い授業力の向上を目指していく研修を進めていく予定でございます。

続きまして、第八小学校でございます。

第八小学校は、知・徳・体の調和のとれた児童を育成する学校、家庭・地域と協働する学校、組織として教育力を発揮する学校を掲げております。今年度は、国語科を中心とした各活動を取り入れまして、教育課題研究指定校として発表を行う予定でございます。研究テーマといたしましては、「自分で考えや思いを表現する児童の育成～書くことを通して～」ということで、国語科を中心とする活動を研究として進めております。全教科を通しての問題解決学習を重視し、主体的な、そして協働的な学びを身につける授業の充実。また、中学校グループの特徴といたしましては、第四中学校グループが一体となりまして、第八小学校、それから第十小学校、そして第四中学校と合同いたしました引き渡し訓練の実施を

今年度も行っていく予定でございます。

第九小学校でございます。

第九小学校、教育目標は、「よく考える子（まなびワクワク）・思いやりのある子（こころウキウキ）・健康な子（からだイキイキ）」で進めてまいります。人権教育推進校といたしまして、2年前に発表を行っている学校でございますので、引き続き教職員の人権意識の高揚、そして自分も人も大切に人権尊重の精神を醸成してまいります。学力、体力、人間力、学校力を高めるポイントを重点化、焦点化した「九小アクションプログラム」を活用してまいります。また、こちらでも校内研究として、第七小学校との合同の「小中一貫教育の推進 I M O - Z O W I N W I N 大作戦」というものを進めてまいります。また、第九小学校は今年度、40周年を迎える学校でございます。10月21日には、40周年の記念行事が予定されております。

続きまして、第十小学校でございます。

第十小学校、児童の「自立（自律）と共生」を目指す。そして、元気で、明るい子。よく考え、やりぬく子。みんなと仲よくする子のうち、「よく考え、やりぬく子」に重点を置いてまいります。第十小学校では、「教育の結果に責任をもち、学力・体力・心の力を保障する第十小学校」といたしまして、保護者や地域からの信頼を得る経営を行ってまいります。また、「学校は子供にとって楽しいところ。決して、辛くて悲しい場所であってはならない。」ことを学校経営の基本理念として教育を進めてまいります。週3回、朝学習のところに、読書活動・音読・そして東京ベーシックドリル、これは算数になりますけれども、こちらを活用した朝学習を毎週行ってまいります。また、放課後補習教室、そして「算・数わくわく教室」、これは第四中学校グループが共同で行うものでございますが、こういう補習教室等にも力を入れ、子どもたちの学力向上を図ってまいります。

続きまして、中学校に進めてまいります。

第一中学校、校訓は「自覚と責任」。そして、第一中学校は、伝統的に防災教育を推進しております。地域社会の一員として「自覚と責任」をもたせ、地域社会を守る側へ立つ生徒の育成に力を注いでまいります。また、東大和市共通プログラムに基づいた学力向上のための学習活動の展開。そして、数学科における少人数指導の推進、「東京ベーシック・ドリル」の活用に入れ、生徒の学力向上を図ってまいります。昨年度、生徒会の役員を中心とした「いじめゼロ宣言」

ということで、取組を実施してまいりましたけれども、今年度も同様に、またさらにバージョンアップをした取組を推進してまいります。

第二中学校でございます。

第二中学校、目標の重点といたしましては、「広く深く学習し、創造性豊かな人になろう」を重点として置いてまいります。特に昨年度から特別支援教育の視点を取り入れた「分かる授業」の工夫。教室環境の整備等も含めたユニバーサルデザインに視点を置きながら、授業研究を進めてまいります。また、道徳の時間の充実にも努めてまいります。今年度は特に学校図書館を、いわゆる調べ学習の場ということだけではなく、学習情報センターとして機能できるような、そのような活用をして、生徒の情報活用力の向上に図ってまいります。また、第二中学校、第二小学校の第二中学校グループの協働で、小学生への読み聞かせ、それから小学校が土曜補習授業を行うときへの中学生が小学生を教える先生として派遣するなど、ボランティアの活動等にも力を入れてまいります。そのような活動を通して、小学生が憧れる、上級生に憧れの気持ちを持つような、そんな中学生に育てていくことでございます。

第三中学校です。

第三中学校は、「自ら考え、正しく判断できる人」に力を入れてまいります。特に教師と生徒との交流を大切にし、より深く生徒を理解し、一人一人のよさを認め伸ばすとともに、生徒相互の豊かな人間関係を築いてまいります。また、校内研究では道徳の教科化に力を入れまして、道徳教育の基礎や指導方法についての教師の力量の向上を図ってまいります。そして、「中一ギャップ」の解消を目指し、第三中学校グループの小学校との研修を実施し、具体的な方策を話し合っ

てまいります。

第四中学校でございます。

第四中学校は、「豊かな心を持ち、自他を尊重できる生徒」に力を入れてまいります。教育活動全体を通して、道徳教育をさらに充実・発展させ、道徳の時間の指導方法の工夫を重ねた道徳的実践力を身に付けさせるような、そんな活動を進めてまいります。校内研究では、「特別の教科 道徳」の充実を行ってまいります。そして、放課後や長期休業中の補充学習等も実施をし、生徒の学力向上にも努めてまいります。なお、第四中学校は、今年度、40周年を迎えます。11月4日に記念の行事を予定しております。

最後に、第五中学校でございます。

第五中学校は、特に授業規律の確立、そして21世紀型能力育成のための指導法や授業形態の工夫・改善を行ってまいります。教職員が率先して範を示し、粘り強い継続的な生活指導の実施をしてまいります。問題行動に対しましては、未然防止、そして迅速対応を徹底し、安全・安心な学校生活を保障してまいります。当たり前のことを当たり前にする「凡事徹底」を学校の合い言葉にし、しっかりと基本的なところが身に付くよう努めているところでございます。今年度は、教育課題研究指定校といたしまして、「学びの確立～能動的な学習への意識を高め、自己肯定感・協働意識を伸ばし、社会活性力の向上を目指す取組への挑戦～」として、2月に発表をする予定でございます。

以上でございます。

○真如教育長 報告が終わりました。

ご質疑があれば、ご発言をお願いいたします。

どうぞ、ご遠慮なく。

では、武石委員。

○武石委員 質問ではないですけれども、感想としてですけれども、どの学校もみんな工夫を凝らせて、学力向上ですとか、学校と地域の連携ですとかいろいろ考えていまして、非常に良い取組だなと思います。

特に気になったというか、良いなと思ったのがありまして、それは第三小学校で学年末試験を4・5・6年生に取り入れるというところなんです。普段の確認テストというのが小学校であると思いますけれども、学年末テストというと、また少し構えるところあると思いますが、それはそれで本当に中学校では確実に定期試験があるわけですから、その慣らしといいますか、中学校で突然定期試験でどうしようと思うよりも、小学校の高学年のうちに、定期的に試験があるというのは、普段なかなか勉強しない子どももテストがある、中学校でこういうことが、高校でもあるよということが、意識づけというか、これからということで、少し勉強しない子どももちょっと構えたり、普段勉強しない子どもがするようになったり、テストがあるということで少し意識して勉強するのではないかなと思うので、学力向上やテストに慣れることに対して非常に良い取組ですので、第三小学校のこの試みを、何年か先に結果が出るといいますので、結果が良いとなればほかの学校でも取り入れていただいて、東大和市全体として行っていただけたら良いので

はないかなと思います。

以上です。

○真如教育長 ありがとうございます。

何かありますか。

はい、どうぞ。

○小板橋統括指導主事 ありがとうございます。第三小学校も昨年からはじめたというところでごさいますして、やはり学習、勉強したところを、その勉強したてにテストをすると、わかってはいるのですけれども、やはり少し時間があいてしまってテストをすると、もうほとんどできていない状況があるというところから、導入を昨年度から試験的に行っております。今年度の結果等を見て、また結果を第三小学校から情報をいただき、それによりましては市内の取組の紹介というところで、広めていく方向でできればと考えております。

以上でございます。

○真如教育長 去年、取り組んで、何か成果があったという話、聞いていますか。

はい、どうぞ。

○小板橋統括指導主事 2学期から去年は行っていたわけですが、2学期は余り、やはり初めてだったので良くなかったところがあるのですが、やはり行うに当たって、この試験があるということについて、勉強する時間は確かに子どもたちに増えています。ただ、結果については、なかなかちょっとどこまでというところはないですけれども、行うという意識で家庭での勉強時間というところには、多少反映ができていかなとと考えております。

以上でございます。

○真如教育長 以前、中学校の副校長先生だった人ですから、中学校の良さを取り入れた新しい試みです。そういう試みって大事ですね。

ほかにございますか。

私から、これ校内研究のテーマ、書いてありますけれども、東京都の指定を受けたり、それから国の指定を受けたりする学校は、これから出てくるのですか、それとも今年はないということですか。

はい、どうぞ。

○小板橋統括指導主事 今年度、東京都から幾つか指定を受けているものがございますして、全校導入されているものが幾つかあります。1つは、オリンピック・パ

ラリンピック教育推進校、これが全校指定を受けております。あともう一つが、学校と家庭の連携推進事業といいまして、不登校傾向にあるお子さんの家にお迎えに行っていていただくような方をお願いして、または別室に登校してきたときに、そこで学習支援などを行っていただくような、そんな人材を使えるようなものもございます。また、理数教育特別プログラムというものも、これも全校で行っております。

それから、今年度、新規で行われているのが、中学校体育のスーパーアクティブスクールというのがございます。東京都は中学生の体力調査の結果が、全国でも本当に低いところにあるということを受けまして、各地区、大体1校ぐらいになりますけれども、そのような指定を受け、体力向上のための取組ということで、こちらは今年度、第五中学校が指定を受けております。それから、日本の伝統文化にかかわる事業につきましては、第四小学校、第七小学校、第九小学校が指定を受けているところでございます。あと道徳の推進拠点校といたしまして、第八小学校、それから第四中学校が指定を受け、これからこの取組を進めていくところでございます。

また、去年から引き続きですけれども、学力ステップアップ推進地域指定事業といたしまして、放課後等の補習教室への人材のために使われる予算をいただきまして、また東京ベーシックドリルを活用した取組ということで、東京都からの委託を受けて、こちらも実施してまいります。

以上でございます。

○真如教育長　たくさん行っているのので、一覧表に整理してもらって、市民の目にとまるようにしておくといいですね。これだけのことを行っていますよと。聞かないとわからない、ぜひ、その役割を果たしてもらいたいと思います。

ほかに何かございますか。

(発言する者なし)

○真如教育長　質疑を終了いたします。

報告事項(2)平成29年度使用小・中学校特別支援学級用教科用図書採択について、本件の報告をお願いいたします。

統括指導主事。

○小板橋統括指導主事　それでは、平成29年度使用小・中学校特別支援学級用教科用図書採択について、ご報告をさせていただきます。

平成29年度の教科書採択につきましては、学校教育法附則第9条に基づく教科書、学校教育法第34条第1項に規定する教科用図書以外の教科用図書を除き、平成27年度と同一の教科書を採択しなければなりません。よって、小学校、中学校用の教科書につきましては、平成29年度は前年度と同一の教科書を採択するということになっております。

特別支援学級における教科用図書につきましては、学校教育法附則第9条に基づく教科書、学校教育法第34条第1項に規定する教科用図書以外の教科用図書について、採択替えを行います。東大和市立小・中学校使用教科用図書採択要綱に基づきまして、教科書採択資料作成会議委員及び調査部会員の推薦を各校長会へ依頼をいたしまして、教科書採択事務をただいま進めているところでございます。

これからの予定でございますが、5月9日に第1回の資料作成会議を開きまして、特別支援学級設置小学校長、中学校長2人と市民を代表して保護者2人に委員の委嘱を行う予定でございます。

また、5月19日の木曜日には、第1回の調査部会を開催いたしまして、小学校特別支援学級用調査部会、中学校特別支援学級用調査部会では、それぞれ校長、教員4人、市民を代表して保護者2人、合わせて小中合計12人の方に委員の委嘱を行っていく予定でございます。

以上で報告を終わります。

○真如教育長 報告が終わりました。

ご質疑があれば、ご発言をお願いいたします。

(発言する者なし)

○真如教育長 それでは、質疑を終了いたします。

続いて、報告事項の(3)学びあいガイド28について、それから報告事項の(4)番、東大和の文化財をめぐるてくてく案内の配布について、一括して報告をお願いいたします。

社会教育課長。

○村上社会教育課長 お手元にビワ色の表紙の「学びあいガイド28(行政による生涯学習)」及びカラーの冊子、「東大和の文化財をめぐるてくてく案内」をお配りさせていただきました。

「学びあいガイド28」につきましては、市民の皆さまの学習活動などに役立てていただく目的で、1つとしては市が主催する事業予定の案内、2つ目として市

内の高校、消防署が実施する公開講座の案内、3つ目として市民の皆さまの自主的な学習会に職員を派遣するひがしやまと出前講座（多摩湖塾）の3部からなっております。5月15日号の市報と市のホームページで市民に周知をいたしまして、同日から社会教育課の窓口、あと各公民館、図書館、市民センターなどの窓口で配布を予定しております。

なお、夏休みの事業を掲載いたしました小学生向けの「学びあいガイド」は7月に、公民館などの施設案内、人材バンクの案内、サークル団体紹介を掲載した市民による生涯学習編は8月の発行を予定しております。

続きまして、カラーの冊子、「東大和の文化財をめぐるてくてく案内」ですが、こちらは国の地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を活用いたしまして、市内の文化財等に多言語表示の案内板を設置する事業の一環として、市内からの転入者や観光で市内を訪れる外国人のための多言語表示のガイドマップを作成いたしました。合計で28箇所の文化財を紹介いたしまして、そのうち変電所と慶性門及び吉岡堅二さんの旧宅につきましては、日本語、英語、中国語、韓国語の4箇国語で説明文を掲載いたしまして、その他の施設については日本語案内と英語の案内の表記といたしました。全額、国庫負担金でございまして、1万部を作成いたしました。先ほど言いましたように、市内へ転入された方や外国人の方々、あと各国の大使館、約100ありますけれども、そちらにもお配りするとともに、博物館主催の事業などでも活用を考えております。

以上でございます。

○真如教育長 報告が終わりました。

何かご質疑、ご感想も含めて、ありましたらお願いいたします。

どうですか、手にとっていただいて。

○藤宮委員 すばらしいです。

○真如教育長 藤宮委員、どうぞ。

○藤宮委員 すばらしいと思います。ぜひ、行ってみたいです。

○真如教育長 良いですか。

○藤宮委員 はい。

○真如教育長 ほかにございますか。

市長は、これを手にとって、アイデアか何かを紹介してくれましたか。

はい、どうぞ。

○村上社会教育課長 てくてく案内のほうにつきましては、ゲラ段階で市長のほうにも、表紙につきましても2案ございましたが、もう一つは多摩湖の表紙がありましたけれども、そちらとこのてくてく案内がありまして、多摩湖よりもこちらのほうが良いのではないかという市長からお話をいただきました。また、中ほどに文化財マップが見開きでありますけれども、こちらでも緑道のほうをもう少し強調したほうが良いのではないかというお話もいただきました。

以上でございます。

○真如教育長 ありがとうございます。

大変すてきな写真がいっぱい載っていて、随分魅力がある市だなというのを感じながら見る方が多いのではないかと思います。

では、なければ次にまいりたいと思います。

報告事項の5番、桜が丘図書館、清原図書館の特別資料整理に伴う休館について、本件の報告をお願いいたします。

中央図書館長。

○當摩中央図書館長 それでは、桜が丘図書館、清原図書館の特別資料整理に伴う休館について、ご報告いたします。

この休館は、東大和市立図書館運営規則に基づき休館とするもので、内容といたしましては、電子データと実際にある資料との突き合わせをするとともに、書架や資料の選書等を行うものでございます。桜が丘図書館は、通常の休館日も含め、5月9日の月曜日から13日の金曜日まで、清原図書館につきましては、5月16日の月曜日から20日の金曜日まで休館となります。

なお、利用者への周知につきましては、市報、ホームページ、掲示物等で行う予定にしております。

以上でございます。

○真如教育長 報告が終わりました。

何かご質問、その他ありましたらお願いいたします。

(発言する者なし)

○真如教育長 それでは、ないようですので質疑を終了いたします。

これで、その他報告事項を終了いたします。

◎閉会の辞

○真如教育長 以上をもちまして、本日予定しておりました議事日程は全て終了いたしました。

なお、新藤委員につきましては、今日は所用がありましてどうしても出席できないというご連絡をいただいております。

これをもって、平成28年第4回東大和市教育委員会定例会を閉会いたします。

午後 3時03分閉会

以上の会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため、ここに署名する。

東大和市教育委員会教育長 真如 昌美

会議録署名委員 岩田 圭子